

「ピリピの教会に倣うものへ」 (ピリピ人への手紙1章3節～6節)

NYめぐみ教会・宣教師：立石 尚志

序) 宣教を支える「ピリピ教会」

・NYめぐみ教会は2018年3月にNY州ウェストチェスター郡ホワイト・プレーンズで始まったがその前身はグリニッチ福音キリスト教会(1995～2018年)、チャパクワ福音キリスト教会(1990～1995年)であった。メンバーの入れ替わりが激しい駐在員社会の中での働きゆえ、日本から宣教師が派遣されて宣教が続けられて来たが、その背後に多くの「ピリピ教会」があったことを覚えてほしい。



1) ピリピ教会の成り立ちと実践

・ピリピ教会は紫布商人ルデヤとその家族、パウロとシラスが捕らえられていた監獄の看守とその家族らが救われたことから始まった。救いの喜びがはっきりしていた彼等は、福音をもたらしてくれたパウロの宣教の働きのために祈り、経済的にも人的にも支える教会となった。

2) ピリピ人への手紙は宣教師の支援教会に対する感謝レター

・パウロは自分が開拓した多くの教会に手紙を書いたが、そのうちの多くは教会内の様々な問題を取り扱っている。しかしピリピ書は「喜びの手紙」として知られているとおり、ピリピ教会に対する感謝にあふれている手紙である。それはこの教会がパウロと同じ宣教のスピリットを共有している「同労」の教会であったからだ。

3) 自己中心な時代の中で

・どの時代でも人は裕福になればなるだけ自己中心になっていくものであり、コリントの教会はその代表のようなどころがあった。私たち現代日本人もまた「あなたのためよ！」と言われて育ち、極めて自己中心的な世界観を刷り込まれて来た。裕福な環境の中で、マイ教会主義に陥らず、他者の救いのために祈り、福音宣教に携わる働き人を支えることには、愛の「決断」と真実な「継続」が要求される。

結) ピリピ教会の模範に倣おう

・主は「受けるよりも与えるほうが幸いである」と仰られたが、それは神は喜んで与える者たちをますます祝福されるからである。私たちもぜひ、ピリピの教会に倣っていきましょう。主イエスはもう暫くすると再臨されるが、そのときに、主に喜んでもらえる者にならせていただこう。

名前(_____)

◆お話を聞きながら、答えを考えましょう。

① 今日、お話しする先生は、長い間、どこで働いていましたか。

② そこ(↑)は、どんなところで先生は教えてくれましたか？

③ 使徒パウロは、ピリピ教会の人たちに何を伝えたかったのでしょうか。

() 会いに行けなくてごめんね！ () もっとお金を送って！

() いつも支えてくれてありがとう！ () 私は元気だよ！

() その他 _____

◆お話を聞いた後で、考えましょう。

* 立石先生がお話されたことの中で、あなたが「すごいな」と思ったことは何でしたか。

* 自分のことばかり考えてしまう(自己中心)は、どうしてよくないのでしょうか。



～教会クイズ(教理問答)～

みんなで一週間
考えてみよう！

Q025 「主は聖霊による受胎によって、おとめマリヤから生まれ」とはどういうことですか。

A025 イエスさまが、 をのぞいて、わたしたちと同じ

になってくださったということです。

☐ヒント☐ マタイ 1:18-25、ルカ 1:26-38、ヨハネ 1:14、ガラテヤ 4:4-5、ヘブル 2:14-18、4:14-16